



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

リスニング活動のみの授業実践：
オンラインによるリスニング指導50分間の実践報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-03-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 梅山,真梨子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/166746

リスニング活動のみの授業実践

— オンラインによるリスニング指導 50 分間の実践報告 —

A study of listening exercises in classes of 50 minutes

英語科 梅 山 真梨子

<要旨>

本実践の目的は、通常授業内でのリスニングのトレーニングの必要性を考え、どのような活動が良いのかと考えるきっかけを作ることである。本年度より大学センター試験が大学入学共通テストと名称を変え、リーディングとリスニングの出題傾向も大きく変わる。リーディングの問題形式は、以前のような発音や文法を問うものではなく、全問題が長文やグラフの読み取りになる。リスニングに関しては、配点が100点になりリーディングと1:1の割合になる。音声は2回流れるものと、1回のみ流れるものがあるため、センター試験に比べ、聞かせる量がかなり増える。通常の授業内でリスニング活動を増やしていかなければならないのではないかと考えた。そこで、本年度行われた夏期補講を使って、50分間の授業でリスニング活動に特化した内容を考え、生徒の反応、使用した問題の素材についてまとめる。

<キーワード> 大学入学共通テスト リスニング活動 リスニングトレーニング オンライン授業

1 目的

今年度より、毎年1月に行われる大学入試センター試験は「大学入試共通テスト」と名前を変え、出題の傾向も大きく変わる科目がある。国語・数学・英語に関しては、学習指導要領が重視する「思考力、判断力、表現力」を測る問題が増えるという。2018年度に行われた試行調査では、国語・数学においては、記述も出題予定であったが、試行調査の結果や様々な意見から、2019年12月に記述問題の取りやめが発表された。

英語に関しても、リーディング(80分)では、今までの発音アクセント、文法語法の4択問題などがなくなり、長文読解、表の読み取りで問題が構成されている。その中で、文法や語法に関する問題が取り上げている問題がある。また、英語長文の内容理解だけでなく、書かれていることが「事実(fact)」なのか、筆者の「意見(opinion)」なのかというような、思考力が図られる問題もある。当初、英語民間試験の受験も必要ということであったが、これも2019年11月に延期が発表された。

そのほか、リスニング(30分)に関してもセンター試験では30分の試験で50点だったが、大学入試共通テストでは、30分の試験で100点となる。このリスニングテストの変更について、リーディングとリスニングが1:1で評価されるのであれば、今まで以上に生徒にとってはリスニングの点数が大切になる。現場での授業の中でどれだけトレーニングができていくのかに疑問をもつ

た。少なくとも自分の通常の授業の中ではしっかりと行えているとは言いがたい。そこで、通常の授業の中のリスニング活動とはどういうものなのだろうか、リスニング力をあげるにはどのようなトレーニングが必要なのかについて考える必要があると考え、今年度行った夏期補講でのリスニング活動に特化したオンライン講座で行った内容をまとめる。

2 センター試験と大学入学共通テストについて

2-1 センター試験のリスニングの出題内容

令和2年度実施のセンター試験のリスニングへの評価を基にリスニングの範囲、形式について「令和2年度試験問題評価委員会報告書(本試験)」を参考にまとめていく。スクリプト、質問文と選択肢、音声について、それぞれの評価があるが、ここでは割愛し、まとめの部分だけみる。

まず、表1では、令和2年度センター試験出題形式について表にまとめる。

問題番号	形式	内容	問題数	配点
第1問	対話（短）	イラスト、 グラフ、 数字選択	6問	各2点
第2問	対話（短）	応答選択	7問	各2点
第3問 A	対話（中）	内容把握	3問	各2点
B	対話（長）	内容把握	3問	各2点
第4問 A	モノローグ（長）	内容把握	3問	各2点
B	3人の会話（長）	内容把握	3問	各2点
合計			25問	50点

表1 令和2年度センター試験出題形式

報告書では、文法・語彙・表現・発話速度などの観点については、「受験者の日頃のコミュニケーション活動における学習成果を測るものとおおむね適切である」との評価がある。出題の場面設定については、「実際の会話に近く、日頃から使用場面を想定した言語活動をどれだけ行っているかが問われており、authenticで多様な表現に触れさせるとともに、4技能全てでそれらを使えるように指導していくことが求められている」とある。リスニング力について、「聞き取ったり読み取った情報を整理して正確に判断する力が求められており、教育現場においても引き続き実践的な思考力や情報処理能力を養うことが必要である」とある。

本報告書の意見と要望、提案から、3箇所まとめる。
()の番号は報告書のままとする。

(1)来年度の共通テストでは、1回読みの問題が含まれるため、問題量の増加が予想される。試験時間を考慮した上で受験者にとって極端な負担増とならないように配慮していただきたい。

(3)なお、来年度の共通テストから導入予定の1回聞きの問題については、実際の会話場面においても1回しか聞けないような情報について聞き取る力を測る問題を検討していただきたい。その場合においても、会話中の言い換え表現や視覚情報が理解の助けになるよう配慮していただきたい。

(4)来年度、1回再生の問題が含まれる中で、場面設定や処理すべき情報の量と種類、質問文と選択肢の難易度など、様々な要素を総合的に勘案して、受験者の聴解力と聞き取った情報の処理能力を適切に測れる出題となるよう配慮していただきたい。

この3点から読み取れることは、「1回読み」につい

ての変更が受験者に与える影響について懸念しているということである。

2-2 大学入学共通テスト問題作成方針について

令和2年6月に発表された「令和3年度大学入学選抜者に係る大学入学共通テスト問題作成方針」では、英語に関しての方針を以下のように述べている。

・高等学校学習者指導要領では、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにすることを目標としていることを踏まえて、4技能のうち「読むこと」「聞くこと」の中でこれらの知識が活用できるかを評価する。したがって、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しないこととする。

・「リスニング」については、生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わる内容について、概要や要点を把握する力や必要とする情報を聞き取る力等を問うことをねらいとする。音声については、多様な話者による現代の標準的な英語を使用する。

読み上げ回数については、英語の試行調査の結果や資格・検定試験におけるリスニング試験の一般的な在り方を踏まえ、問題の数の充実を図ることによりテストの信頼性が更に向上することを目的として、1回読みを含める。十分な読み上げ時間を確保し、重要な情報は形を変えて複数回言及するなど、自然なコミュニケーションに近い英語の問題を含めて検討する。全ての問題を1回読みにする可能性についても今後検証しつつ、当面は1回読みと2回読みの両方の問題を含む構成で実施することとする。

より自然なコミュニケーションに必要な力を養うためのリスニングテストに変わっていくことが考えられる。

2-3 大学入試共通テストの出題形式について

ここからは大学入学共通テストの出題形式（表2）を大学入学共通テスト受験案内、平成30年年度実施の試行調査と本校で使用しているリスニング対策本（EMIL出版）からまとめる。

問題番号	形式	内容	問題数	配点
第1問 A	モノローグ(2回)	内容把握	4問	各3点
第1問 B	モノローグ(2回)	イラスト	3問	各4点
第2問	対話(2回)	イラスト	4問	各3点
第3問	対話(1回)	内容把握	4問	各4点
第4問 A	モノローグ(1回)	イラスト, 表埋め	2問	問1 完答4点 問2 2点
第4問 B	対話(1回)	状況条件合致	1問	各4点
第5問	講義(1回)	内容把握	4問	各4点
第6問 A	対話(1回)	内容把握	2問	各4点
第6問 B	対話(1回)	討論	2問	各4点
合計			26問	100点

表2 大学入学共通テストリスニング問題出題形式

第1問・第2問は流れる英語は短めではあるが、選択肢は言い換え表現が使われているため、考えなければならない問題がある。第3問からは1回読みになり、流れてくる英語に対しての集中力、理解力、聞く力が同時に必要になる。各大問に、日本語での状況説明があるため、その場面の想像をしながら聞くという部分では理解がわりとしやすい問題となっている。しかし、一問あたりの流れてくる情報量は多いため、瞬時の理解力が必要になるだろう。

3 夏期補講リスニング講座について

3-1 補講を行うにあたって考えること

上記でまとめた出題方針や出題形式を確認すると、実際のコミュニケーションに必要な力を養うためのものであると考えられ、日常的に英語を聞くことが必要である。ここからは夏期補講で行ったリスニング講座についてまとめる。

通常の授業で行うリスニング対策問題や、本講座をするにあたり生徒からの要望や苦手という声が聞こえたのは、第5問の大学での英語講義の部分である。話されている内容も専門的な分野が多く、問1では表を埋め、同時に問2の内容理解をしなければならない。表を埋めることに集中しては内容を聞きそびれてしまうという。この問題は1回しか流れないため、集中力、聞き取り力、理解力がそれぞれ同時に必要になる問題である。

センター試験では、アメリカ英語を使用していたが、

大学入学共通テストでは、「多様な話者による現代の標準的な英語を使用する」とあるため、教科書のような訛りのないものだけでなく、訛りのある英語も多く流れるようになっている。会話でも、大学の講義などは、実際の場面に近い設定での話し方で語られるため、教科書のようなわかりやすい言い方ではなく、より authentic な話し方のものが多いと感じる。教科書の英語に慣れている生徒にとっては、より集中力と聞き取り力、理解力を維持することが大変になってくるだろうと思う。そのためにも、日頃から様々な種類の英語を聞くことが必要になる。

3-2 補講内容について

2020年度夏期補講の5日間では、様々な種類の英文を聴くということを目指し、授業時間50分間をすべてリスニング活動に費やした。その中にはディクテーション、シャドーイングも含む活動も取り入れている。主な流れを以下にまとめる。大学入学共通テスト対策として補講希望者を募り、「リスニングがとにかく苦手」、「少しレベル高いものに挑戦してみたい」という二つのレベルの生徒がいた。音声の流し方はiPadから流し、パソコンのマイクで拾い、流すという方法で行った。

①から③は5日間流れを変えずに行う。

① ウォーミングアップ

- 1) VOA60(Voice of America)のニュースの穴埋めディクテーション
- 2) 同じもののシャドーイング

② 大学入学共通テスト(2種類)

- 1) 解答
- 2) 解説
- 3) 短い部分のシャドーイング

③ 大学入試問題(大学入試で使われた過去のリスニング問題)

- 1) 解答
- 2) 解説

④ 日替わりで色々な素材に挑戦する

各問題を解き終えた時点で、スクリプトは共有画面で共有し、どんなことが流れていたのかをすぐに確認した。

①では英語になれさせるため、80~90wpmで話される英語学習者向けに配信しているVoice of AmericaからVOA60の1分間で4つの各国のニュースを伝える動画を使用して、ウォーミングアップをする。ただ聴くだけでなく、筆者が作った穴あきのスクリプトに聴こえた単語を入れる活動(穴あきディクテーション)を行う。そ

の後、完成形のスクリプトを見ながら、音声に合わせてオーバーラッピング、スクリプトを見ずにシャドーイングをする。

②では、本補講の目的の大学入学共通テストの対策である。主に第3問、第4問、第5問を取り上げ、活動していく。実際の試験ではこの部分は一回しか流されないため、さまざまな問題に触れながら、慣れていく必要があると思う、この部分を取り上げた。まずは音声を流し問題を解く。その後、解答解説をしながら、聞き取るポイントなどを伝える。第3問は文章が短めのため、シャドーイングまたはオーバーラッピングをして、もう一度なにがどのような順番で話されているのかを確認する。

③では、大学入学共通テストに余裕がある生徒のために、国立私立大学の過去にリスニングテストを行った大学の問題を行う。大学入学共通テストに比べて、聴く分量が多いため、この部分に関しては問題を解き、解答解説のみにした。

④では、毎日さまざまな素材を取り上げ、自分にあったリスニング対策ができるような提案をした。5日間で取り上げたのは、『Hapa 英会話』、NHK WORKD NEWS、BBC のポッドキャストなどである。

3-3 生徒の反応について

本補講5日間終了後に生徒にアンケートをとり、自己評価をさせた。主なアンケート内容は以下のものである。

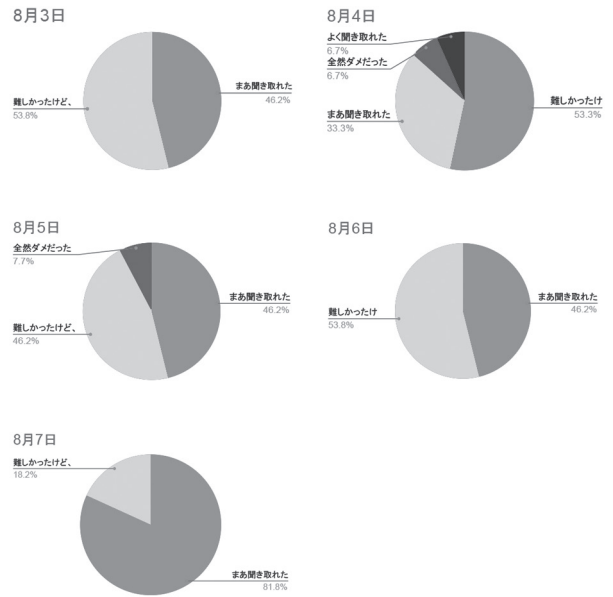
1 から4の活動についての自己評価

よく聞き取れた まあ聞き取れた 難しかったけど、頑張った 全然ダメだった

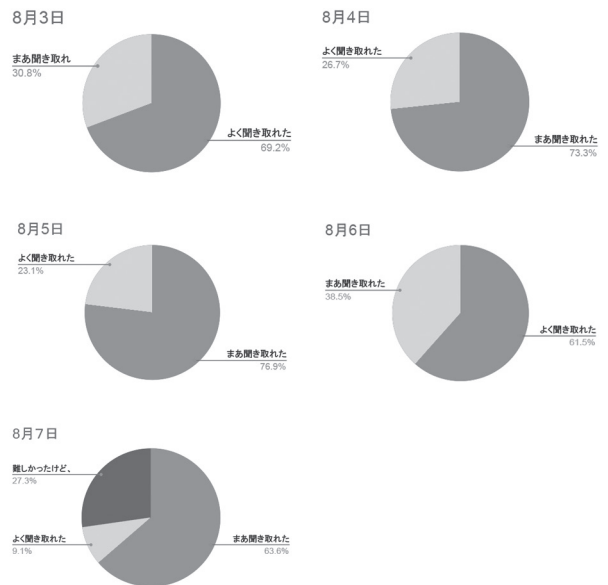
5 自分がリスニング力を伸ばせそうだと思う活動

6 その他、この期間で挑戦してみたいこと

ウォーミングアップに対しては、長さは同じだが、内容は毎日異なるため、その日の内容の国や表現によって聞き取れた感覚は違ったようだ。「まあ聞き取れた」や「難しかったけど、頑張った」を選ぶのが基本だが、多く聞いたことがある国の話や、日本のニュースで流れるようなニュースの際には「よく聞き取れた」を選、聞き取れない国のニュースであったり、馴染みのない内容の時には「全然ダメだった」を選ぶ生徒が多かった。

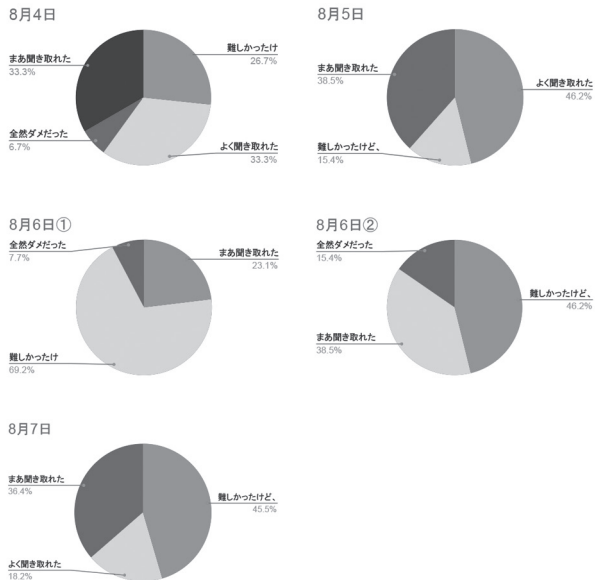


大学入試共通テストの問題に対しては、「よく聞き取れた」「まあ聞き取れた」を選ぶ生徒が多く、扱った教材が基礎レベルのものであったのもあり、比較的よく聴けていたようである。「まあ聞き取れた」が多い日は第5問の大学の講義を聞き取る問題であった。この問題については出講義を聞きながら、表を埋め、また内容理解をしていくという、複数の技能が必要になる問題である。その問題に対して、「まあ聞き取れた」という範囲であれば、なにを言っているかわかるが、解答の部分でなにか悩んだところがあるのではないかと考える。

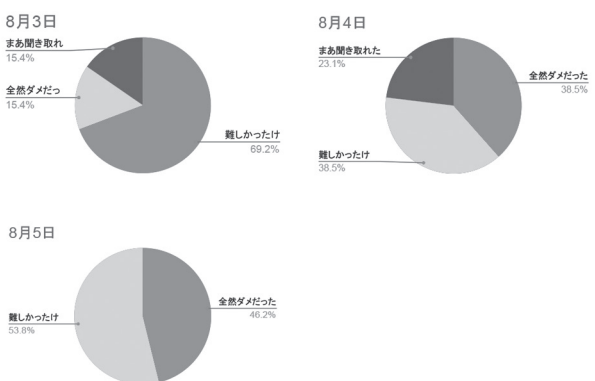


大学入試の問題では、「難しかったけど、頑張った」の評価が多くなる。大学入試に使用されている題材は一文の単語数が多く、また読まれるスピードも速い。かな

りの集中力と理解力が必要とされる。設問の難易度はあまり難しいものではないが、どの部分で流れるのかを聞き逃すとなかなか厳しいものである。「全然ダメだった」という回答がなかったのは、問題に取り組もうという姿勢と意識があったからだろう。



最後の部分に関しては、扱うものもさまざまだったので、一概にリスニング力としてまとめることはできないが、毎回数人は「全然ダメだった」を選んでいて、設問というものは作らずに、内容理解をさせることを中心に行ったからだろう。設問があるとそれに向けて聞き取ろうとするが、「この英文を聞いて内容をまとめなさい」とするとなかなか難しかったようである。



3-4 今後の課題

夏期補講を通して、5日間行うことで生徒からは「毎日やることで、少しずつ聞き取れてきた」という声があった。しかし、本当にリスニング力を伸ばすとすると、本補講ではまだまだ足りないところがたくさんあると感じる。例えば、大学入試共通テストの対策であれば、教

材の難易度も考えながら、優しい問題から難しい問題を取り組むべきであった。リスニングの指導方法についてもまだまだ確立したものでないことや難易度に合わせた指導方法についても今後の課題として学ばなければならない部分である。効果的な指導方法について、今後も実践しながら考えていきたい。今回のように毎日少しずつことが、生徒のリスニングへのモチベーションをあげるきっかけになるのであれば、授業の中でもリスニング活動を帯活動として実践したいと思う。

同期型オンラインでのリスニング講座を行うことの難しさは、発信側のノイズに気をつけなければならないところである。教室という広い空間の広さがあれば、生徒がリスニングしている間に、小さなノイズはあまり気になることはないが、オンラインだと少しの音でもノイズとして入ってしまう。大きな影響はないということだが、教室環境とは違うノイズの種類が、生徒の集中を妨げてしまう恐れもある。

参考文献・引用文献

独立行政法人 大学入試センター「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験案内」P.41

株式会社 エミル出版 共通テストリスニング分野別10min. Pp.61-83

大学入試センター (2019) 令和2年度試験問題評価委員会報告書 (本試験) .

Available at: <https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00039686.pdf&n=%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%EF%BC%88%E6%9C%AC%E8%A9%A6%E9%A8%93%EF%BC%89.pdf> (Accessed: 27 November 2020).

平成30年年度試行調査問題 (外国語 (リスニング))
https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00035537.pdf&n=02-09_%E5%95%8F%E9%A1%8C%E5%86%8A%E5%AD%90_%E8%8B%B1%E8%AA%9E%28%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%29.pdf (Accessed: 27 November 2020)

平成30年年度試行調査問題スクリプト (外国語 (リスニング))

<https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?>

f=abm00035540.pdf&n=06_%E3%82%B9%E3%82%AF%E3%83%AA%E3%83%97%E3%83%88%28%E3%83%AA%E3%82%B9%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%29+.pdf (Accessed: 27 November 2020)

大学入試センター「大学入学共通テスト英語におけるイギリス英語の使用について」

<https://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00037503.pdf&n=%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E5%85%A5%E5%AD%A6%E5%85%B1%E9%80%9A%E3%83%86%E3%82%B9%E3%83%88%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%82%A4%E3%82%AE%E3%83%AA%E3%82%B9%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E3%81%AE%E4%BD%BF%E7%94%A8%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.pdf> (Accessed: 29 November 2020)